

北寄りの強い風が白波を立てる日でした。春の日差 しの中若葉が気持ちよさそうに広がり、それらに支 えられる小さな虫たちの活動が活発になってガの 幼虫やアブラムシなどの姿をよく見かけるように なりました。小枝の先が反り返るほど吹いていまし たが風の弱い所を拾って歩き、枝を振って白布に落 ちてくる虫を観察しました。落ちてきた虫は暖かか ったのですぐに飛び立ってしまうものもいました。



サワフタギ

例年なら 5 月上旬に満開になる花です。 日陰では蕾でしたが日向では満開でした。アブやハエ、ハナムグリが花粉や蜜 を求めてやってきています。



**アリグモ の雌** アリのように見え

るクモで、雄は下の写真のように大きなあごを持っています。歩き回って獲物を探します。



ミツバアケ ビ

左の矢雌不とにたいてはよっては、これになっているとになったが、これになっている。



いるのも雌花の 柱頭のように見 えました。白い ものはキジラミ の分泌物です。



コミスジ

白黒のツートンで数回の羽ば たきと滑空を繰り返すという 変わった飛び方をします。幼 虫はマメ科のクズ、フジ、ニ セアカシアなどを食べます。



ヒゲコメツキ 立派な触角の雄です。片方は羽化の折にうまく脱げずに萎縮。板の上にのせたらプチッと音を立てて飛び上がりました。何度も挑戦させていたら白布に噛み付いて動かなくなりました。左は裏から見た大顎です。



サシゲチビタマムシ

体長 4 \* ,,。小さな虫ですが、 拡大すると光を反射してとて もきれいで、スダジイの葉に 特徴的な食痕を残します。



スダジイ

これも 5 月上旬によく見られる花で、今日はにおいはあまり感じませんでしたが、独特のにおいを発するようになります。秋になると食べられる実を大量に落とします。



ナナフシモドキ

脚が6本で体は細く、頭の先にごく短い触角があります。 風に飛ばされてここへ来たようですが体を揺らしながら上へ上へと上っていきました。 この姿で緑の枝にいたら見つかりにくいことでしょう。



クモンクサカゲロウ

この仲間は、アリなどから守るため植物から長い糸のような柄を引いた先に卵を産みます。幼虫はアブラムシやハダ

ニなどを食べます。この仲間の幼虫の中には 植物のかけらや食べか すなどを背負うものが います。





ヒロバトガリエダシャク幼虫

頭部に円い眼のような模様が見られます。確認のため拡大すると模様の下に矢印の先のようなものが



左右一対付いていました。これは斗糸管という糸を吐き出すところです。



マダラアラゲサルハムシ 体長4<sup>\*</sup>,ほど。コナラなどにい て葉を食べています。お茶の 木の若葉や枝も食べるので茶 農家には警戒されます。



クヌギミツアプラムシ・ハリプトシリアグアリ 縮んだコナラの葉の裏にいました。 アリはアブラムシが分泌する蜜をいただく代わりに、天敵のクサカ ゲロウやテントウムシを追い払うという関係を結んでいます。 緑色で翅がないのは幼虫です。

腫物 ニガナ、タンポポ2種、ヘラオオバコ、ノミノツヅリ、ヘビイチゴ、ハルジオン、カラスノエンドウ、カラスビシャク、アリアケスミレ、ジャーマンアイリス、シャガ、トウカイコモウセンゴケ花茎伸びる、ヒメハギ、アゼスゲ、カナビキソウ伸びる、ハナミズキ、サワフタギ咲く、サクラ実、アカメガシワ新葉、スダジイ咲く、イスノキ雌花、 昆虫 ナミアゲハ、キタキチョウ、コミスジ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモン、ムラサキシジミ、ヒメウラナミジャノメ、ガ幼虫(モンキキナミシャク、アヤシラフクチバ、ヒロバトガリエダシャク、不明2種)、ツチイナゴ、マルバネゴキブリ?幼虫、アカサシガメ、チャバネアオカメムシ、ミナミアオカメムシ、クワキョコバイ、ハコネキジラミ、クヌギミツアブラムシ、アワフキ巣、ヒゲコメツキ、ツブノミハムシ、カミナリハムシ類、ヒゲコメツキ、モモブトカミキリモドキ、コイチャコガネ、コアオハナムグリ、マダラアラゲサルハムシ、サシゲチビタマムシ、ドウガネツヤハムシ、ナミテントウ、カシワクチブトゾウムシ、ヒメクロオトシブミ揺籃、セスジジョウカイ、ナミホシヒラタアブ、ホソヒラタアブ、シマハナアブ、ナミヒラタアブ、ハグロケバエ、ケバエの一種、ハエ類(タケノコの穴)、ハバチ類幼虫、アリ地獄3、チャバネヒメカゲロウ、クモンクサカゲロウ、ホソバヒメカゲロウ、アオヒゲナガトビケラ、脚蛛 ヤサアリグモ、ワカバグモ、ウヅキコモリグモ卵のう、キハダエビグモ、チュウガタシロカネグモ、ウロコアシナガグモ、ジョロウグモ卵のう食べられる、鳥、その他 ヒバリ、ハシボソガラス、ツバメ、シジュウカラ声、コゲラ声、カワウ営巣、オオバン、アオサギ、ゴイサギ、カナヘビ、イスノキハタマフシ、メダケ赤衣病菌 次回:5月9日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円